

**製品名: CD1a (4C3) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM00729**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

**抗原情報**

遺伝子名	CD1A
別名	CD1A; T-cell surface glycoprotein CD1a; T-cell surface antigen T6/Leu-6; hTa1 thymocyte antigen; CD antigen CD1a
遺伝子 ID	909
SwissProt ID	P06126
免疫原	CD1 の合成ペプチド

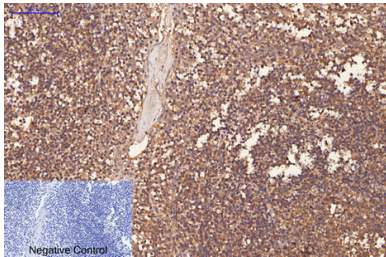
**背景**

自己および非自己の脂質および糖脂質抗原に結合し、ナチュラルキラー T 細胞上の T 細胞受容体に提示する抗原提示タンパク質。

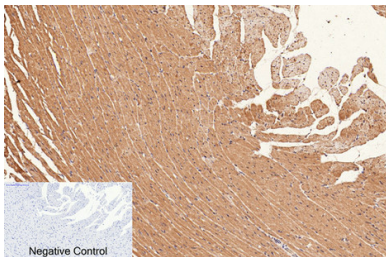
## 研究分野

免疫学

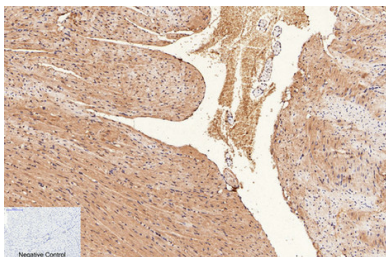
## 画像データ



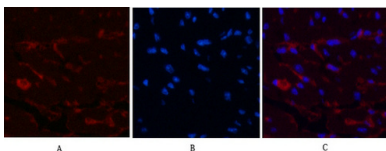
CD1a (4C3) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



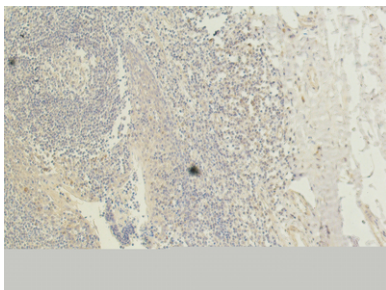
CD1a (4C3) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CD1a 抗体を用いたパラフィン包埋マウス心臓組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧・高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。ネガティブコントロールとして、二次抗体のみを用いた。



CD1a (4C3) 抗体 (9H6) (赤) および DAPI (青) を使用したマウス心臓組織中の CD1a (4C3) の免疫蛍光分析。



CD1a (4C3) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。